

受理印

実験番号

(別紙様式 2)

県有ビームライン利用報告書

平成 19 年 5 月 8 日

報告区分

1. トライアルユース 2. BL 立上調整 3. 整備チーム利用

実験責任者

(氏 名) 田村 隆正

(所属、職名) 松下電器産業株式会社 PAVC 社 技術統括センター

AVC デバイス開発センター デバイス第一開発グループ

(住 所) 〒571-8501 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地

(連絡先) TEL 06-6900-9746 FAX 06-6900-9658

E-mail tamura.takamasa@jp.panasonic.com

実験名 BL09A による微細パターン形成可能性の検討

利用 BL BL09A

実験参加者 (全員記入してください。)

氏 名	所 属	職 名

実験の概要及び成果 (公表可能な範囲で記入してください。)

県有ビームライン BL09A による、微細パターン形成可能性の検討を行った。

立命館大学 S R 光源の Dose 量の適正値をトレースして露光実験を行ったが、Dose 量を適正に調整できなかった (オーバーDose) ため、パターン形成することができなかった。立命館大学 S R 光源に比べて、佐賀県有 BL の試料面での X 線照射エネルギーは非常に大きいと考えられる。

今後、微細パターン形成時の適正 Dose 量を探索して、立命館大学 S R 光源との X 線照射エネルギーの比較を行う予定である。

備考 (利用の感想、センターへの要望などがあれば記入してください。)